

# Market Flash

発表日: 2019年8月27日(火)

## 日本株スイートスポット チャート集

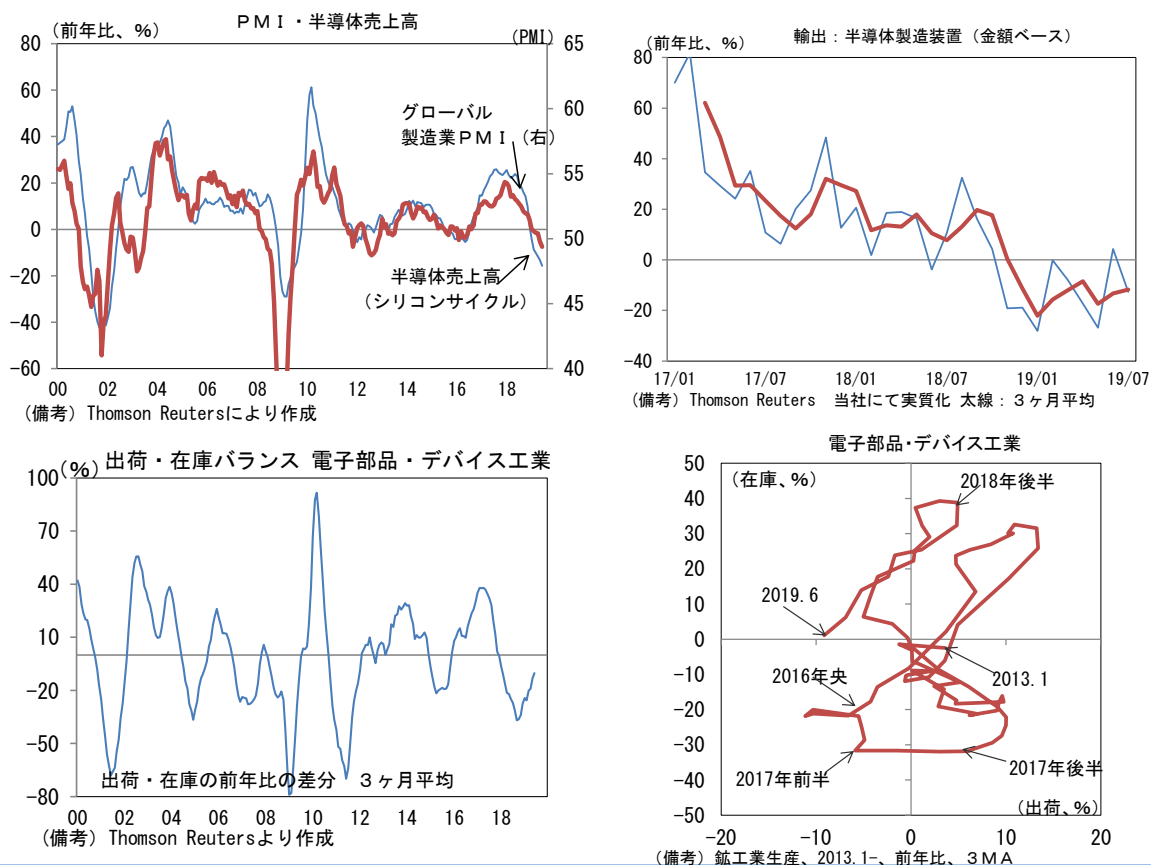
～サイクル好転は近い～

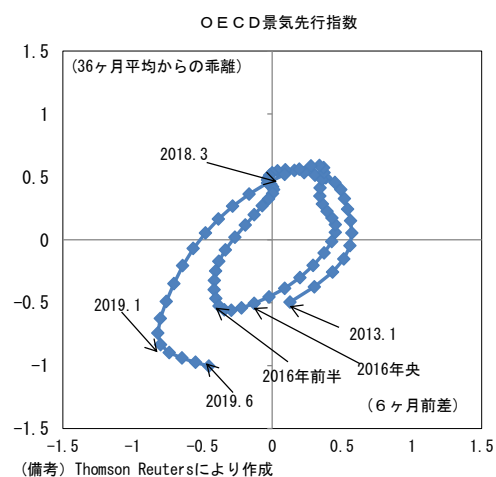
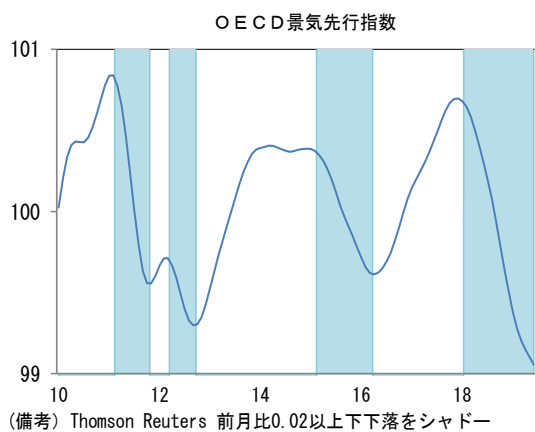
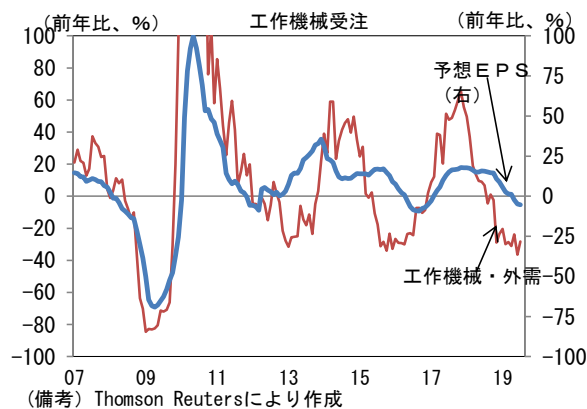
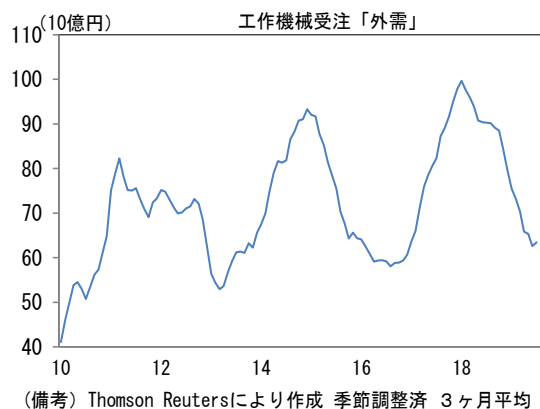
第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
主任エコノミスト 藤代 宏一 (TEL: 03-5221-4523)

- ・日経平均は底堅い企業業績を背景に、先行き12ヶ月は23000近傍で推移しよう。
- ・USD/JPYは米利下げ観測が支配的となる下、先行き12ヶ月は105程度で推移しよう。
- ・日銀は現在のYCCを2020年末まで維持するだろう。
- ・FEDは予防的利下げを実施後、様子見に転じるだろう。

### < #日本株 #スイートスポット >

・先週の当レポートでは日本株のスイートスポットが近付きつつあることを示してきた。根拠は①シリコンサイクルに先行性を有すると考えられる半導体製造装置の輸出が下げ止まりつつあること、それに対応するように②鉱工業生産で「電子部品・デバイス工業」の在庫が減少に転じ、③TOPIXの予想EPSに連動性を有する工作機械受注の「外需」にも底打ちに兆しがみられていることである。そして④OECD景気先行指数が反転上昇に向けて歩み始めたことも大きい。前回これら指標が反転したのは2016年央頃。筆者は当時の展開が再現される可能性が高いとみている。





### 【株式市場・アジアオセアニア経済指標】

- ・日本株は欧米株高に追随して高寄り後、もみ合い（9：45）。日経平均は20500円近傍まで水準を切り上げている。

### 【欧米経済指標】

- ・ 7月米耐久財受注（非国防、除航空機） は前月比++0.4%と予想比堅調。過去分は下方修正されたものの、3ヶ月前比年率では+3.7%へと小幅ながら加速。1月の▲4.9%から持ち直している。

**【海外株式市場・外国為替相場・債券市場他】**

- ・前日の米国株は反発。米国と中国が交渉再開との報道を受けて米中貿易戦争に対する懸念がやや後退。WTI原油は53.64<sup>F</sup> (▲0.53<sup>F</sup>)。
- ・前日のG10通貨はリスク回避姿勢が和らぐ下でJPY、CHF、EURが売られた。USD/JPYは日本時間早朝に105を割れた後、反発に転じると米国時間午後まで一貫して上昇。106を回復した。EUR/USDは1.11近傍へと水準を切り下げた。
- ・前日の米10年金利は1.535% (±0.0bp) で引け。他方、2年金利は1.539%へと0.6bp上昇、2年10年は終値ベースで逆転した。欧州債市場(10年)はドイツ(▲0.666%、+0.9bp)、フランス、イタリア、スペインが何れも1bp以内の小幅な変動。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。